

～小中高生の2013年振り返り・2014年展望に関する意識調査～

小中高生が選ぶ、“今年の言葉”は「東京オリンピック」!
今年一番印象に残った出来事も「2020年東京オリンピック開催決定」
小中高生の注目度 No.1 有名人は「安倍晋三首相」より「堺雅人」!

オンライン学習教材「すらら」を展開する株式会社すららネット(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:湯野川孝彦)では、「2013年振り返り・2014年展望に関する意識調査」を小学1年生から高校3年生までの男女に実施しました。

- 1) 小中高生に聞いた、“今年の言葉”は「東京オリンピック」!
- 2) こんな年になって欲しい、“来年の言葉”は「平和」!
- 3) 小中高生が今年印象に残った世の中の出来事トップ3「2020年東京オリンピック開催決定」、「『半沢直樹』が視聴率42.2%記録」、「『あまちゃん』ブーム」
- 4) 小中高生が個人的に頑張ったことTOP3「勉強」、「クラブ・部活動」、「恋愛」
- 5) 今年の小中高生の注目度 No.1 有名人、
1位「堺雅人」、2位「能年玲奈」、3位「安倍晋三」

1) 小中高生に聞いた、“今年の言葉”は「東京オリンピック」!

小中高生に今年を表す言葉を聞いたところ、1位「東京オリンピック」、2位「アベノミクス」、3位「おもてなし」という結果となりました。また、その言葉を回答した理由において、1位「東京オリンピック」と3位「おもてなし」の理由は、共に「2020年のオリンピックの開催地が東京に決定したから」で、2位「アベノミクス」の回答理由は「ニュースでよくとりあげられていたから」といったことが挙げられています。1位と3位に東京オリンピック開催決定関連の言葉が入っており、子どもたちにとって、大変印象深い出来事だったことが分かります。

■結果:「今年の世の中を表す言葉は何ですか?」の回答トップ5(自由回答)

| No. | 回答 | % |
|-----|----------|------|
| 1 | 東京オリンピック | 8.0% |
| 2 | アベノミクス | 7.3% |
| 3 | おもてなし | 6.4% |
| 4 | 倍返しだ! | 3.1% |
| 5 | 消費税増税 | 2.8% |

※本リリースの調査結果をご利用頂く際は、「すららネット調べ」とご明記下さい。

NEWS RELEASE

2) こんな年になって欲しい、「来年の言葉」は「平和」!

小中高生を対象に来年はどんな言葉で表せる年になって欲しいか聞いたところ、1位「平和」、2位「幸福」、3位「復興」という結果となりました。

1位の「平和」の回答理由は、「平和になってほしいから」というストレートに平和を願うものや、「いじめや自殺がすくなくなり、みんなが安心して暮らせる1年になってほしい」、「災害や事故が起こって欲しくないから。」と平和を乱す出来事が起こって欲しくない、といったことが挙げられています。2位の「幸福」は、「みんなが幸せになってほしいから」や「楽しい年になってほしいから」といった幸福を求める回答が、3位の「復興」は、「台風や原発の被害に遭った人達に早く元気になってほしいから」といった自然災害や原発に苦しむ人たちの復興を願う気持ちが表れた回答が、理由として挙がっていました。

■結果:「来年はどんな言葉で表せる年になって欲しいですか?」の回答トップ5(自由回答)

| No. | 回答 | % |
|-----|------|-------|
| 1 | 平和 | 13.2% |
| 2 | 幸福 | 5.4% |
| 3 | 復興 | 3.8% |
| 4 | 笑顔 | 3.5% |
| 5 | 景気回復 | 2.8% |

3) 小中高生が今年印象に残った世の中の出来事トップ3

「2020年東京オリンピック開催決定」、「『半沢直樹』が視聴率42.2%記録」、「『あまちゃん』ブーム」

小中高生を対象に今年一番印象に残った世の中の出来事を聞いたところ、1位は「2020年東京オリンピック開催決定」が39.8%と、抜きんでて高い割合となりました。小中高生が選んだ今年という言葉においても、1位と3位が東京オリンピック関連という結果でしたが、「2020年東京オリンピック開催決定」は小中高生にとって非常にインパクトのある出来事だったようです。また、2位には「『半沢直樹』が視聴率42.2%記録」、3位には「『あまちゃん』ブーム」といった高視聴率を獲得したテレビドラマが入ってきており、今年は明るい話題が上位を占めました。

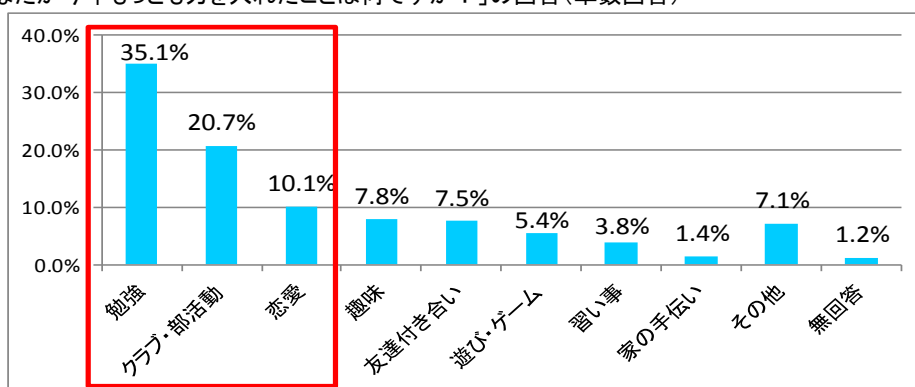
■結果:「今年一番印象に残った世の中の出来事は何ですか?」の回答トップ5(単数回答)

| No. | 回答 | % |
|-----|-------------------|-------|
| 1 | 2020年東京オリンピック開催決定 | 39.8% |
| 2 | 「半沢直樹」が視聴率42.2%記録 | 15.8% |
| 3 | 「あまちゃん」ブーム | 10.1% |
| 4 | iphone5s発売 | 6.8% |
| 5 | 豪雨や台風等の悪天候による被害多発 | 6.1% |

4) 小中高生が個人的に頑張ったこと TOP3「勉強」「クラブ・部活動」「恋愛」

小中高生を対象に個人的に今年もっとも力を入れたことは何か、との問いに対し、1位は「勉強」で35.1%、次いで、「クラブ・部活動」が20.7%、「恋愛」が10.1%という結果となりました。小中高生は世の中に左右されることなく、まず自分の目前にある「勉強」や「部活」が第一義のようです。一方、恋愛に最も力を入れたと1割が回答しており、青春を謳歌している小中高生の姿も見えてきます。

■結果:「あなたが今年もっとも力を入れたことは何ですか?」の回答(単数回答)



NEWS RELEASE

5) 今年の小中高生の注目度 No.1 有名人、1 位「堺雅人」、2 位「能年玲奈」、3 位「安倍晋三」

今年一番注目した有名人は誰か聞いたところ、1 位は堺雅人さん(23.5%)、2 位能年玲奈さん(11.1%)、3 位安倍晋三首相(9.4%)でした。1 位の堺さんは、民放ドラマで平成に入ってからトップの視聴率を獲得した話題のドラマに出演され、小中高生の中でも一大ブームを巻き起こしたようです。能年さんも、高視聴率を獲得した朝ドラでヒロインを演じ、学校に遅刻しそうになりながら見ていた小中高生も多かったようです。3 位の安倍首相と回答した小中高生は 1 割を切っており、総理大臣でありながら、小中高生の関心の薄さが伺われます。

■結果:「今年一番注目した有名人は誰ですか?」の回答(単数回答)

| No. | 回答 | % |
|-----|----------|-------|
| 1 | 堺雅人 | 23.5% |
| 2 | 能年玲奈 | 11.1% |
| 3 | 安倍晋三(首相) | 9.4% |
| 4 | 嵐 | 8.9% |
| 5 | 滝川クリステル | 7.3% |

<調査概要>

- 1) 調査名 : 小中高生の「2013 年振り返り・2014 年展望」に関する意識調査
- 2) 調査方法 : e ラーニング教材「すらら」のログイン画面にて回答を得た
- 3) 調査対象 : 小学 1 年生から高校 3 年生までの男女
- 4) 調査期間 : 2013 年 11 月 5 日～2013 年 11 月 27 日
- 5) 有効回答数: 425 名<男性: 54.4%・女性: 45.6%、小学生: 10.6%・中学生: 77.6%・高校生: 11.8%>

■オンライン学習教材「すらら」とは

【学習範囲】小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】英語・数学・国語

【ユーザー数】25,000名(2013年7月末現在)

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、オンライン学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのオンライン学習教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型: カリスマ講師のレクチャー動画を視聴するタイプ
「理解」にすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型: 問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型: 携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の“次世代型教育システム”です。

■すららの「ゲーミフィケーション的要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



- ▼ログイン後の「すらら」TOP画面
- 努力指標（学習時間・クリアユニット数）におけるランキング
- 学習レベル：「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み
- 今日の目標一覧：自分or先生が設定した目標ユニットが表示される
- クリアユニット数の推移



■ 株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：6,285万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：オンライン学習による教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>